

国語科 研修講座

11月9日(火)・10日(水)

受講者数 27名

(講師含む)



田代 幸子先生
(仁木町立仁木中学校)



原田 益明 先生
(黒松内町立黒松内小学校)



田村 和幸 氏
(後志教育局指導主事)



田中 幹也 氏(北海道立
教育研究所研究研修主事)



受講者の方々の声

- この時期は、毎年後志弁論が重なり連続して学校を離れなくてはならなくなり、また校内研などで忙しい先生も多い。もっと早い時期の開催が良い。
- 中学校の授業、実践について。授業をするのになかなか難しい題材だったと感じました。教科書の例文を使って応用させて、実際に作文させ練習してから、金魚の飼い方の文を書かせる方が生徒は分かりやすかったかもしれません。短時間で作文させるのは難しいですね。
- 言語活動をどのように授業に組み込んでいけばよいのか、糸口が見えてきた感じがします。国語の授業づくりという点で方向性を確認させていただきました。主査の講義で、新指導要領と今の自分の授業、国語教師として考える事など勉強させていただきました。ありがとうございます。
- 言語活動と評価基準のこと。それぞれ別々に説明を聞いたことがありますが、一緒に聞いたことでさらに分かりやすかったです。
- 古典や小説の授業を見て、話し合い学びたいです。